

独立行政法人農業者年金基金の平成20事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、独立行政法人評価委員会による平成20年度の総合評価が「A」評価であったこと等を踏まえ、役員解任等は行わなかった。
----------	--

2. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	20事業年度評価における主な指摘事項	平成21及び22年度の運営、予算への反映状況
業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	<p>給与水準については、国家公務員の給与改定を下回る給与改定を実施するとともに管理職ポストの削減を実施するなどの措置を実施した結果、対国家公務員地域別指数(地域別法人基準年齢階層ラスパイレス指数)は平成18年度の110.0より5.9ポイント改善され104.1となった。更に給与水準の公表において国と比べて給与が高い理由、給与水準の適切性の検証、講ずる措置等について、国民の理解が得られる説明が行われており適切に対処していると認められる。今後は、平成24年度までに地域別法人基準年齢階層ラスパイレス指数を100にする目標の達成に向けて引き続き給与水準の適正化に取り組まれない。</p> <p>コンプライアンス委員会を平成20年4月に設置し、四半期に1回コンプライアンス委員会を開催し、講じた措置についてはホームページに公表されている。</p>	<p>(平成21年度) 給与水準の適正化及び人件費抑制の観点から、国家公務員の給与構造改革を踏まえた措置を実施するとともに、国家公務員の給与改定を下回る給与改定等を実施した結果、地域別法人基準年齢階層ラスパイレス指数は、平成18年度の110.0より9.7ポイント改善され100.3となった。</p> <p>(平成22年度) 今後とも平成24年度までに地域別法人基準年齢階層ラスパイレス指数を100にする目標の達成に向けて引き続き給与水準の適正化に取り組む。</p> <p>(平成21年度) コンプライアンス委員会を年4回開催し、コンプライアンス推進の取組状況についてホームページで公表した。</p> <p>(平成22年度) 今後とも四半期に1回コンプライアンス委員会を開催し、講じた措置についてはホームページで公表する。</p>
重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	千葉県柏市に所有する職員宿舎について、平成21年度末までの売却に向けた手続きが適切に実施されている。	(平成21年度) 千葉県柏市に所有する職員宿舎等とその土地について、平成22年3月に一般競争入札により売却した。